

【保護者記入（川西市立学校園所・留守家庭児童育成クラブ兼用）】

溶連菌感染症罹患<sup>りかん</sup>に関する届

川西市立\_\_\_\_\_学校園所長 ・ 留守家庭児童育成クラブ担当課長 様

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日(\_\_\_\_\_曜日)に(医療機関名\_\_\_\_\_)

を受診し、(病名：溶連菌感染症)と診断されました。

全身状態良好で、溶連菌に対する抗菌薬1日分内服終了かつ、1回目の内服から24時間経過すれば、登校園所可能。

\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日(\_\_\_\_\_曜日)から\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日(\_\_\_\_\_曜日)まで

治療中でしたが、上記の条件を満たし、主要症状が解消し、全身状態が良くなったので、

\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日(\_\_\_\_\_曜日)から登校園所します。

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_組 名前(本人)\_\_\_\_\_

(自署) 保護者名\_\_\_\_\_

参考資料

「学校において予防すべき感染症の解説」(2018年3月30日発行 発行者:公益財団法人 日本学校保健会)

【溶連菌感染症の登校の目安】

適切な抗菌薬療法開始後24時間以内に他への感染力は消失するため、それ以降、登校(園)は可能である。ただし、定められた期間は抗菌薬の内服を継続すること。